



第3回 学校運営協議会開催

10月30日(月)、第3回 学校運営協議会が小針中学校コミ室で行われました。報告・協議した内容は下記の通りです。

☆報告・協議内容☆

- 前期生活アンケートと今後の対応
- 全国学力学習状況調査の結果と今後の対応
- 部活動改革を通じた地域づくりについて
- 小針中CSアクションプランについて
- その他(学校経営に係わる話題提供)



報告内容

●前期生活アンケートと今後の対応

前期生活アンケート結果から、今後は成果と課題を整理し、付けたい力を焦点化して、活動の見直し、行事の精選や充実を図る。

●全国学力学習状況調査結果と今後の対応

今後の方策として、根拠を明確にし自分の意見を書いたり、お互いの意見を出し合い検討するなどの学習や、自己決定力を育む授業づくりをテーマとした職員研修の充実を図る。



協議内容

●部活動改革を通じた地域づくりについて(2次提案)

新潟市の方針をふまえ、小針中は令和6、7年度部活動見直しに係わる方針を検討中である。今後、部活動概要説明会等を行い、学校と地域・保護者双方で取り組みを進めていきたい。

●小針中CSアクションプランについて

教育目標である「創造し 協調する たくましい生徒」の実現に向けて生徒に自治力・自己決定力をつけさせたい。地域により取組や実態がことなるが、CS委員の方々から可能な限り、各自治会や各コミュニティ協議会で話題に出していただき、2月のCS会議で協議をお願いしたい。

●その他 (CS委員の方からのご意見)

- 前期生活アンケート集計結果から、「なりたい自分(私の目標)の達成に向け、努力している」の数値が、全学年ともに高い。全国学力・学習状況調査で正答率が低い項目もあるが、希望をもってよいのではないかと。

Q・Chat GPT 教育現場での生成AIの利用について同意書があり驚いた。AIが文章を作ると意見が偏るように思う。学校では生徒にどのように指導しているのか? ↓

A・文部科学省から「初等中等教育における生成AIの利用によるガイドライン」が発表されたが、使用には年齢制限があり、保護者の同意が必要。



誤りを含む生成AIの回答や情報を教材として使用し、生徒自身が情報を審議、判断して追究することが大切。すべての教科で教師が本当に正しいか間違っているか、判断できないこともあるが、生成された文章は「参考の一つにすぎない」ことを十分に理解し、最後は自分で真意を確かめることが必要。